

# 投稿規程・執筆要項

## 投稿規程

### 1. 投稿資格

依頼論文を除き、国際経営学会（別府大学）の会員とし、連名も可とする。

### 2. 投稿カテゴリ

#### 1) 論文、研究ノート

学術上の研究あるいは開発成果を記述した論文であり、新規性、有用性等の点で価値のあるもの（修士論文を要約したもの等も含む）：6～15ページ

#### 2) 研究資料

新しい研究による、技術・ビジネスモデル・政策提言等の提案書および報告（リサーチ・ペーパーを要約したもの等も含む）：4～10ページ

#### 3) 書評

学術書等の書評：1～2ページ

#### 4) プロジェクトレポート

プロジェクト研究における成果をまとめた報告書等（研究会セッションを要約したもの等も含む）：4～10ページ

#### 5) その他

### 3. 提出方法

1) 原則として年2回発行する。投稿の締め切りは別途定める。

2) 投稿に際し、リポジトリ公開を承諾するものとする。

3) 学生会員の場合は指導教員による事前レビューを受けなければならない。指導教員は掲載の確性をレビュー後、執筆要項事項を確認する。

4) 論文出力形式は原則として、ワードでA4版用紙に横40字・縦40行設定とする。

5) 論文本体は、PDF ファイルをメールに添付すること。別に、論文代表者の連絡先の住所、氏名、電話、FAX、e-mail アドレス（所有者）を書いた別紙を添付すること。

### 4. 制限

1) 他の刊行物との二重投稿は禁止する。

2) 本誌に掲載された論文等を他の刊行物等に投稿することは原則としてできない。運営委員会が審査する。

### 5. 著作権

著作権は著者に帰属する。本学会は掲載された論文等を、学会が指定する方法で配布・販売する権利を有する。また、本学会は掲載された論文等のリポジトリ公開の権利を有する。

## 執筆要項

### 1. 原稿の作成

#### 1) フォント

原則として、本文・文末脚注・引用文献リストおよび要約・キーワードで明朝系フォントを用い、題名・著者名・所属および本文中の章節などでゴシック系フォントを利用すること。特段の事情により指定以外のフォントを利用したい場合は、下記「論文の出力形式」のPDF処理において「フォントの埋め込み」を行うこととする。

英文論文の場合、本文は「Times New Roman」を原則とする。

#### 2) 論文の構成

①論文題目（14ポイント、中央揃え）

- ②英文論文題目（12ポイント、中央揃え）
- ③著者名・著者所属（12ポイント、著者所属はカッコ書き）
- ④英文著者名・英文著者所属（12ポイント、英文著者所属はカッコ書き）
- ⑤和文要約（800字以内）（10ポイント、左寄せ）
- ⑥英文要約（アブストラクト）（300ワード以内）（10ポイント、左寄せ）
- ⑦和文キーワード（3－6つの範囲内）（10ポイント、中央揃え）
- ⑧英文キーワード（和文キーワードに対応したもの）（10ポイント、中央揃え）
- ⑨本文（文章・図表・他）（10ポイント、シングルコラム（段組は1段））
- ⑩文末脚注（9ポイント、シングルコラム（段組は1段））
- ⑪引用文献リスト（9ポイント、シングルコラム（段組は1段））

### 3) 論文の出力形式

1つのPDFファイルでの提出とする。紙面の大きさは、A4縦を原則とする。全ての文章・図表を1つのファイルに収めること。

特段の事情により指定された以外のフォントを使う場合は、「フォントの埋め込み」機能を使うこと。

## 2. 文章・図表の表記

### 1) 基本

- ①横書きとする。句読点は「、 。」を使用し、「, .」は使用しない。
- ②原則として当用漢字、現代かなづかいを使用すること。
- ③図表には、各々に通し番号を付し、表題をつけること。必ず、単位や出所を明記する。注記が必要な場合には、出所を示した後に続ける。
- 2) 現地の人名、地名、国名などは、漢字による表記が慣例となっている場合を除き、原則としてカタカナ書きとする。一般化していない固有の名称（地名、人名、機関名、会社名など）は、最初に限りその原語（ただし現地語の場合は、そのローマ字化したもの）をカッコ内に付記する。
- 3) 外来語、現地の度量衡および貨幣の単位は、カタカナ書き（全角）とする（中国を除く）。ただしパーセントは、記号（%）を使用し、図表ではm、g、t、mi、haなどの一般的な単位は記号を使用する。
- 4) 数字は原則として算用数字を使用する。ただし本文中ではコンマを用いず、万以上の数字には万、億、兆を用いる。（例：23億500万円）
- 5) 継続を示す場合には、－ または ～ を使用する。

### 3. 項目の区分

- 1) 大項目：I、II、……（節に相当）
- 2) 中項目：1、2、……（項に相当）
- 3) 小項目：(1)、(2)、……
- 4) 列挙項目：1)、2)、……

### 4. 注の表記

注記は通し番号1) 2) ……を付し、文末注にする。参照文献注は本文中に入れること。

### 5. 引用の表記

本文中または注において引用箇所を表記する場合、章末に参考文献を一括配列（邦文文献は五十音順、外国語文献ではアルファベット順）にしたものに基づき、次のようにする。

#### 1) 邦文文献の場合

##### (1) 参照を示す場合

（例）鳥谷〔2008〕によれば、近代経営学の学問的性格は「論理実証主義」といわれる。…

##### (2) 引用頁を示す場合

（例）…「仮設と事実の間にフィードバックが行われる」（河合〔2009〕 p.121）。

#### 2) 外国文献の場合も、上記と同様にする。

（例）James Shinn〔2009〕によれば…

#### 3) 図表や写真の出所の明示も、参考文献でリストに載っているものは同様の方法による。

### 6. 参考文献の表記

#### 1) 参考文献は章末に一括して掲示し、その配列は次のようにする。

邦文文献の場合は五十音順、外国文献の場合はアルファベット順とする。同一筆者で発表年

次が同年の場合には、筆者名〔1998〕、筆者名〔1999〕のように区別する。

- 2) 参考文献の邦文文献は原則として、論文名は一重括弧「 」、単行本名・雑誌名・新聞名等は二重括弧『 』とする。

①単行書

著者名〔西暦〕『書名』(シリーズ名), 出版社。

(例) 関本忠編著〔1998〕『現代の企業統治と法』(現代法学全集第12巻、現代社会の基本問題), 増補版, 中央経済社

②共著・分担執筆論文

執筆者名〔西暦〕「論文名」(編者『書名』, 出版社)。

(例) 金本克敏〔1899〕「日本の農業政策問題」(仰木創玄編『日本の農業行政・政策研究』, 大阪大学出版会)

③雑誌論文

執筆者名〔西暦〕「論文名」『雑誌名』巻号。

(例) 鄭 玟朱〔2007〕「日本における CSR 問題」『社会学雑誌』第77巻第1号

④新聞

『新聞名』発行年月日。

(例) 『日本経済新聞』2009年6月17日

⑤未刊行物・内部資料

著者名〔未刊〕『書名』, 出所または執筆者「論文名」, 出所。

(例) 藤川進〔未刊〕『DSのPBと流通ルートの研究』, 農業経済研究会

- 3) 参考文献の外国文献は著者名は姓名を倒置し、共著の場合2人目からは倒置しない。また、姓名を省略する場合は、名を省略し、頭文字のみを残す。

原則として論文名は一重引用符「 ’ ’」。単行本名・雑誌名・新聞名等は二重引用符「 “ ”」のイタリックとする。

①単行本

著者名〔西暦〕, “書名 (イタリック)” (邦訳), 版次, 出版地, 出版社

(例) Lalitphan Phiriyaphan〔1998〕, “*Khaphrimiyam nai Kansukhai Ngantra-tangprathert-luangna nai Prathet Thai*” (『タイの先物為替売買における先物プレミアム』), Bangkok, Master of Economics, Thammasart University.

②共著・分担執筆論文

執筆者名〔西暦〕, ‘論文名’ in “書名 (イタリック)”, ed. By 編者名, 出版地, 出版社

(例) Chakravarty, S〔1966〕, ‘Choice Elements in international planning’ in “*Capital Formation and Economic Development*”, ed. By P.N.Roseintein London, London, Allen & Unwin.

③雑誌論文

執筆者名〔西暦〕, ‘論文名 (邦訳)’, “雑誌名 (イタリック)”, 巻, 号。

(例) Sophon Phonchokchai〔1990〕, ‘Sathanakan Kanplienplaeng Rakha Thidin lae Naewnom Kanphatthana Asangharimsap (地価動向と不動産開発の動向)’, “*Sangkhom Phatthana*”, Vol. 1, No.3.

④新聞

“新聞名”, 日月, 年

(例) “*Japan Post*”, 12 April, 1985.

⑤未刊行物・内部資料

著者名〔forthcoming〕, “書名” (または執筆者, ‘論文名’), 出所

(例) Andy, Y〔forthcoming〕, “*Political Power & Corporate Control*”, Beppu University.

- 4) インターネット上の文献は原則として一重括弧「 」、URLアドレスと閲覧年月日を付けるものとする。

著者名〔西暦〕, 「論文名」, URLアドレス (閲覧年月日)

(例) 真弓幸助〔2009〕, 「COSOのフレームワークと国際標準化動向(1)」, <http://www.kousuke.org>, (2009年6月6日閲覧)

以上